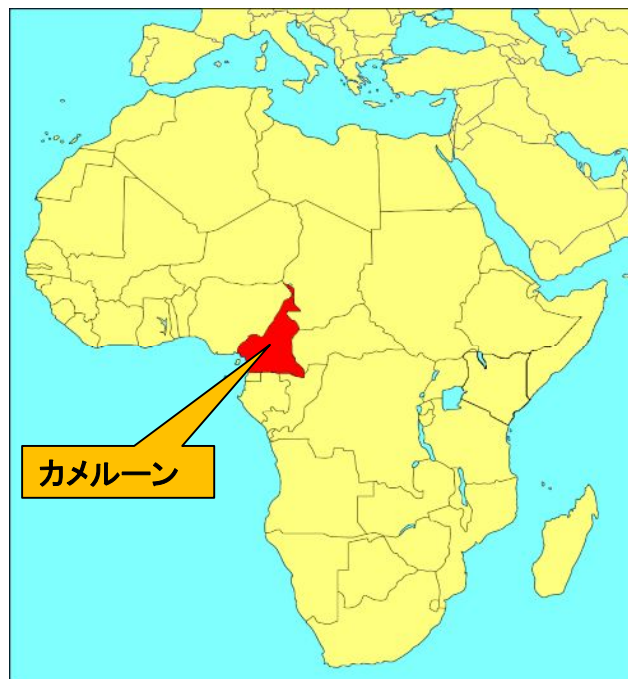


カメルーンで黄熱が発生

2010年2月25日 ProMED 情報
(WHO Global Alert and Response (GAR))



2010年2月17日カメルーン保健省は、同国西部の Banjour 地区と Fantun 地区で3名の黄熱患者が発生したことを報告しました。

1例目の患者は Bandjoun 地区 Bandrrefan 村の28才男性で、2009年12月末に発熱、黄疸、腹痛で発症しました。この患者は黄熱予防接種歴はなく、医療機関受診3日後の2010年1月7日に死亡しました。また同時期2例目の同じ村の19才男性が地区の病院を受診し、3日後の1月23日死亡しました。両患者については黄熱の確定診断がセネガル ダカールのパスツール研究所でなされました。

2名の黄熱患者発見を受けて、Banjour 地区に隣接する Fombat 地区で昨年12月に黄熱患者発生調査が実施されました。その結果、昨年10月に死亡した40歳男性が、その後黄熱と確定診断され3例目の患者とされました。

カメルーンでは昨年5月に黄熱集団予防接種活動が実施されましたが、Banjour と Fantun 地区はそれ以前に黄熱患者の発生がなかったために接種活動の対象地区から外れていました。カメルーン保健省は、両地区の254,355名に対して黄熱予防接種を行う計画です。